

学科名	経営ビジネス学科、建築・デザイン学科																																
科目名	経済学の基礎																																
科目区分	人間形成	単位数	2	開講時期	前期																												
必修・選択の別	選択																																
担当者	坂田裕輔																																
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学を学ぶうえで必要となる、基礎的な概念を身につける。 ・経済理論と現実に起こっている事象を結びつけられるようになる。 ・日本経済の動向や社会現象について、関心を持つようになる。 																																
日程と内容	<p>経済学の基礎概念について講義する。ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的な概念を学び、それに関わる現実の事象を紹介し、理論がどのように実社会で活用されているのかを考えもらおう。</p> <p>必要に応じて実際の経済課題を紹介する。</p> <table border="0"> <tr><td>第1回</td><td>序論</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>需要と供給</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>価格メカニズム</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>市場の効率性と失敗</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>市場の限界</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>環境問題と経済学</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>国の経済と地方の経済</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>国の経済力を測る</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>経済成長と幸福</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>消費需要と投資需要</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>貨幣と金融</td></tr> <tr><td>第13回</td><td>政府の役割</td></tr> <tr><td>第14回</td><td>国際社会の経済的課題：南北問題とフェアトレード</td></tr> <tr><td>第15回</td><td>現代経済の課題：雇用と格差</td></tr> </table>					第1回	序論	第2回	需要と供給	第3回	価格メカニズム	第5回	市場の効率性と失敗	第6回	市場の限界	第7回	環境問題と経済学	第8回	国の経済と地方の経済	第9回	国の経済力を測る	第10回	経済成長と幸福	第11回	消費需要と投資需要	第12回	貨幣と金融	第13回	政府の役割	第14回	国際社会の経済的課題：南北問題とフェアトレード	第15回	現代経済の課題：雇用と格差
第1回	序論																																
第2回	需要と供給																																
第3回	価格メカニズム																																
第5回	市場の効率性と失敗																																
第6回	市場の限界																																
第7回	環境問題と経済学																																
第8回	国の経済と地方の経済																																
第9回	国の経済力を測る																																
第10回	経済成長と幸福																																
第11回	消費需要と投資需要																																
第12回	貨幣と金融																																
第13回	政府の役割																																
第14回	国際社会の経済的課題：南北問題とフェアトレード																																
第15回	現代経済の課題：雇用と格差																																
成績評価基準	定期試験	50%	実技	0%																													
	臨時試験	40%	部外評価	0%																													
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%																													
	課題	10%																															
	演習	0%	計		100%																												
授業到達目標の達成度	おおむね達成できた。80%。																																
反省点	タブレットでの出欠管理となったことで、学生に書かせる提出物が少なくなったこと。																																
来年度の計画	ミニツッペーパーを再度導入し、家庭学習を促進したい。																																
授業評価アンケートに対するコメント	全項目で平均を超えている。来年度は家庭学習が必要となるよう、講義を工夫したい。																																
履修登録者数	117名	定期試験受験者数	95名	合格者数	82名																												
				合格率	86%																												